

ふくおか & MAFF

2024.7
Vol.60

2024年7月3日発行

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- 中村学園大学 エコサークル（福岡市）～食堂の生ごみを堆肥に活用！～
- 第8回食育活動表彰 県内から2団体が受賞！
- 使ってみませんか 地域の農業を見て・知って・活かすDB

中村学園大学 エコサークル（福岡市）～食堂の生ごみを堆肥に活用！～

2023年からSDGsにつながるサークル活動を開始し、食の未来に向けて自ら行動する学生の皆様にお話を伺いましたので紹介します。

栄養士の卵として、食品廃棄の現状に心を痛めていました。捨てられていたものを自分たちの手で別のものに活かせるのがうれしい。生ごみの分解過程が分かるのも面白い！

どんな取組？

“学生が運営する食堂から出る野菜くず等の生ごみを活用して、堆肥を作っています。また、高床式プランターを活用して、**学内で野菜等を育てる取組も実施**。今年**は自分たちで作った堆肥を活用**する予定です。その他、**地域の一斉清掃活動**にも参加しています。”



コンポスト基材入りのファスナー付バックに生ごみを入れてかき混ぜ、熟成させて堆肥を作ります。昨年度は、主に後学期に実施しました。同校短期大学部食物栄養学科ではカリキュラムの一環として堆肥づくりに取り組んできており、アドバイスや協力をいただきながら活動しています。

課題は？

“1年目は協力してくれる先生や関係者の皆様のおかげで取り組んでこれました。2年目の現在、協力を得ながらも自分たちらしい**取組内容や運営方法を考え、試行錯誤**しながら進めています。資材の購入等、活動には資金も必要で、行政等の助成について情報収集を行っています。**取り組みたいこともたくさん**あって、一つずつ整理していく必要があると考えています。”

活動のポイントは？

“メンバーは約60人。多くの学生が少しでも関心を持って参加できるよう、兼部可能です。無理せず**ラフにSDGsに取り組めるスタイル**で、**楽しむことも大切**にしています。連絡にはSNSを活用して、各自ができる時に参加しています。”

料理のことを想像して、何を栽培するか考えるのが楽しい。もっと皆さんにエコに関心をもって欲しい！

野菜を育てるのが楽しい！環境のことを考えながら次の食につながる活動にやりがいを感じます！



部長 平田咲朗 様
(栄養科学部3年生)



清水花音 様
(栄養科学部3年生)



竹原咲 様
(栄養科学部3年生)

今後の目標は？

“ただ野菜を栽培するだけではなく、この活動をもっと活かしたいし、学内だけでなく、学外にも広げたい。最終目標は**子ども食堂の運営**です！”

今まで取り組んだことがなかった人が興味を持って参加してくれることがうれしい。仲間が教えることで、自分が学ぶ意識も高まりました！



中和陽向 様
(栄養科学部3年生)



学内で野菜を栽培。昨年は、ピーマン、トマト、バジル等を育て、メンバーが料理に活用しました。

意見交換、ありがとうございました！

第8回食育活動表彰 県内から2団体が受賞！

農林水産省では、ボランティア活動、教育活動、農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じた食育関係者の功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開されていくことを目的として、毎年6月の食育月間中に「食育活動表彰」を実施しています。

★消費・安全局長賞★

福岡県立戸畑高等学校家庭クラブ

戸高フードロス削減プロジェクト

～もったいないをありがとうに～

家庭科の授業で学んだ知識や技術を活かし、フードパントリーや子ども食堂などのボランティア活動を行うことで、関心の輪を学校から地域全体に広め、より多くの方々に持続可能な社会について考えてもらうきっかけを提供しています。



子ども食堂ボランティア

★審査委員特別賞★

JA糸島青年部

食育！コメンジャーズ・プロジェクト

コメンジャーズとは、糸島で生産される主要5品種の米をモチーフに、地元の米農家がプロデュースしたご当地ヒーローです。農家自身が企画運営を行い、保育園や地元イベントに参加。子どもたちやその親、また、普段食と農に関心が低い若者をも農業に惹きつけることで、後継者不足などの課題を解消し、持続可能な地域農業に繋げていく活動をしています。



使ってみませんか 地域の農業を見て・知って・活かすDB

～農林業センサスを中心とした総合データベース～

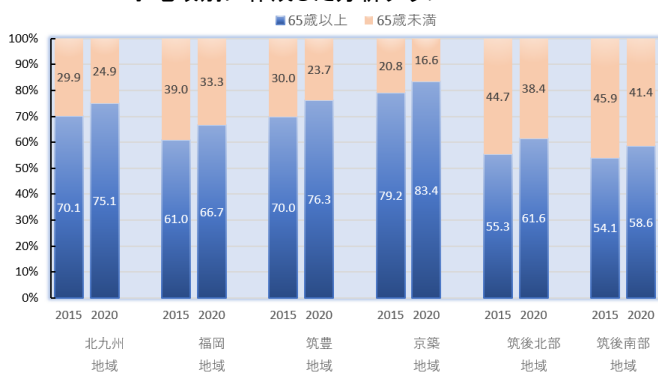
～活かすDBとは～

活かすDBは、農林業センサス調査結果、他府省統計調査結果（国勢調査等）、行政情報（農業基盤情報、多面的機能支払等）などの各種データを全国約15万の農業集落単位に組み替えて編成したデータベースです。地域農業の現状をグラフや地図で見える化することや、国勢調査や行政情報と組み合わせることで分析することが出来ます。

活かすDBでできること ～地域農業に関するデータをグラフや地図で見える化！～

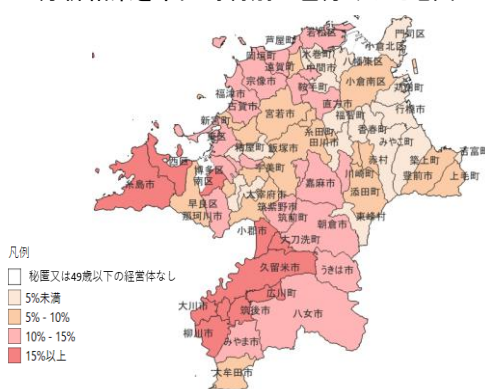
※ 活かすDB（2015年、2020年センサスデータ）を使って作成した見本です

小地域別に作成した分析グラフ



※ 基幹的農業従事者数割合の農業地域別の推移

分析結果を市区町村別に色分けした地図



※ 49歳以下の基幹的農業従事者数割合

活かすDBの利用方法

・活かすDB専用ページ

https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/index.html

・利用マニュアルなど活かすDBの利用方法に関する情報を知りたい場合はこちら

https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/riyou.html



【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
 〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

